



臨床情報医工学プログラム

臨床情報医工学プログラムってなに？

- 本プログラムは、広島大学、広島工業大学、広島国際大学と本学の4大学連携で実施している大学間連携共同教育推進事業です。
- 広島大学の医学に関する授業、広島工業大学の医療機器に関する授業、広島国際大学のチーム医療に関する授業などを受講できます。
- 地元の主要な病院（広島大学病院、市民病院、県立病院など）で、実際に医療の現場での実習を受けることができます。
- 広島市内を中心とした県内の医療系の企業で実習（インターンシップ）を経験できます。
- 情報の知識や技術だけではなく、医療、医工学、医療理工学の知識を兼ね備えた人材になることができます！



プログラムが実施している授業



臨床情報医工学プログラムでは、座学を遠隔地双方向講義システムにて行っています。このシステムで本学にいながら、広島大学の医学に関する授業、広島工業大学の医療機器に関する授業、広島国際大学のチーム医療に関する授業などを受講できます。

連携大学提供科目（学士課程）

広島大学

医歯薬保健学Ⅰ・Ⅱ

広島工業大学

医用電子工学

広島国際大学

診療技術論

※必修科目の医歯薬保健学Ⅰ・Ⅱは医用情報科学科の卒業単位として認められます。

充実した実習

長期休業を利用して約5日間、病院などの医療現場や企業で行われます。4大学合同で行われるので実際の現場に触れられるだけでなく、他大学の学生と交流を深める事ができます。実習を通じて現場で求められることを学べるだけでなく、グループディスカッションや研究成果の発表などからグループワークやディスカッションの力を培います。

早期医療体験実習

1年次 夏季集中講義

プログラムにて最初に行われる授業です。

実際の医療施設や学内の実習施設において連携4大学の学生が見学や体験実習を共同で行います。

医療系実習

3年次 夏季集中講義

医学系、歯学系、薬学系、保健学系の4つの分野を対象に、医療現場での実習を行います。

臨床情報医工学特別演習

3年次 通年集中講義

異分野の学生グループが一つのチームとして、それぞれの専門分野の知識・経験を持ち寄り、それまでの体験で発見した課題を分析し、解決策を導き出す過程を学べます。また、得られた解決策やその過程を発表することにより、アウトプットの重要性を学べます。

